



～活動の芽を育てよう！Yes！はじまりの合図～

eyes *あいず*



丸谷 波津江 さん

子育てがひと段落した15年程前、自閉症の人たちを手助けする大学のサークルでイキイキと頑張っている娘の姿を見て、自分も何か人のために役に立ちたいと思い、公民館の手話講座を受講されたそうです。

🍀 きっかけは娘から！

活動風景



受講するうちに、聴覚障がい者への情報手段の一つとして、話している内容を要約し文字として伝える「要約筆記」というものがあることを知り、もともと書くことが好きだったこともあって、そのまま要約筆記講座にチャレンジされたそうです。
これが、『要約筆記サークルひまわり』との出会いで、今ではサークルの代表として10年以上活動を続けていらつしやいます。

聞こえない、聞こえにくい方々のコミュニケーションを支援したい！！



今回、表紙を飾っていただいた丸谷さんはいつもニコニコと元気いっぱい。そんなはつらつとした丸谷さんとは…。

🍀 技術より心

丸谷さんに要約筆記の魅力についてお尋ねすると、「要約筆記のやり方は、いくつかあります。が主に筆談と話を聞きながらロール紙に書いてスクリーンに映し出す方法を使っています。一般的に聴覚障がい者は手話で会話が出来ると認識されているようですが実際には手話で完全なコミュニケーションをとれる人の数は多くはないんですよ。中途失聴者や難聴者・高齢者は、積極的なコミュニケーション手段として手話を覚えることは時間もかかり難しいので、情報受取り手段として要約筆記を用いて、会話の補助手段として手話を用いる方が増えてきています。講演会や病院の受付、学校の授業参観、受験、免許取得などいろいろな場面で要約筆記活動をしてきましたが、いまだに、試行錯誤の日々で、話している側の言葉を全部書くわけではないので、要約していかに正確に内容を伝えられるか奮闘中です。たとえば、携帯電話会社の「au」を、「エーユー」ではなく「アーウ」として理解されてしまったことがあるんです。文字だけで伝えることの難しさを実

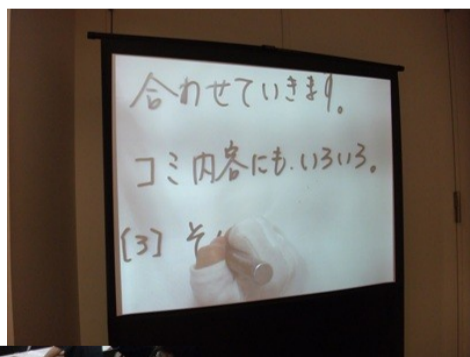
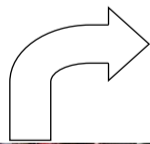
感させられた瞬間でした。文字で情報を伝えたことによって、その文字で相手が内容を理解し行動してくれることが嬉しくもあり要約筆記の楽しさだと思っています。こういう経験ができる環境が、今まで続けられている要因だと感じています。聴覚障がい者や加齢により聞こえにくくなった方々が、言葉によるコミュニケーションに不自由を感じて外出が縁遠くならないためにも要約筆記の存在を、もっと知ってほしいし、利用してほしいと願っています。でも本音は要約筆記者を通さず家族の方や近くの方のこころの通った通訳が一番だと感じています。」と話してくれました。

🍀 点と点を線に！

「要約筆記サークル ひまわり」では、行政から委託を受けて、要約筆記者養成講座・要約筆記者派遣事業を行っています。まだまだ一般によく知られていない要約筆記ですが、今後の丸谷さんの夢は、民生委員・社会福祉協議会等と協力して地域密着型のサークルとして『ひまわり』の輪をを広めていきたいと言っています。

「ある利用者の方が、『ひまわりの存在を知って、砂漠でオアシスに出会った気分です！』と言ってくれたことを励みに、『これからも心の通った支援活動をしていきたいです。』と、イキイキと話される姿に、丸谷さんの元気の素が垣間見えました。

ロール紙に書いたものがスクリーンに映し出される



作業風景



「あいぽーと通信」や「eyes」が皆さまのお手元に届くまでには、紙を折ったり封入したり、ノリづけしたりといろいろな作業が必要となります。これらの発送作業は、ボランティアさんとあいぽーと職員が一緒に行っています。今回は、そのボランティアさん達（通称 **折々ボランティア**）にお話を伺いました。



みんなの癒し系
かねこ ゆうこ
金子 裕子さん

数年前に仕事を辞めたのをきっかけに、何か人の為になることをしたいと思い「よかよかボランティア」に登録しました。どんなボランティアがあるか探していたところ、あいぽーとの職員の方から折々ボランティアのお勧めがあり早速参加しました。折々ボランティアの活動は月1回ですが、作業をしながら人と触れ合える時間が持てて、いつも元気をもらって帰っています。現在、「子育てホットサポーター」の研修を受け、託児ボランティア等をしています。また、昨年開催された「ねんりんピック熊本」のボランティアにも参加し毎日を有意義に過ごしています。



いつも元気いっぱい
なかがわ ちえこ
中川 千恵子さん

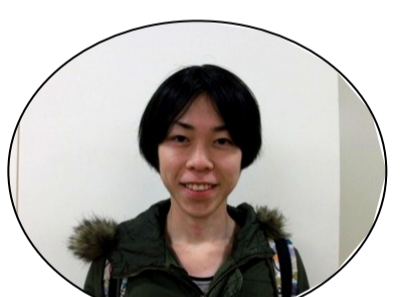
もともとボランティアに興味があり、7年程前に「よかよかボランティア」に登録したのがあいぽーとの出会いです。登録はしたもののなかなか活動が出来なかったのですが、今年7月の「あいぽーと通信」で折々ボランティアの募集を知り、久しぶりにあいぽーとに出向き参加することにしました。作業を通してたくさんの方と知り合いになれて楽しいし、自分が作業した郵便物が登録者の方に届いていると思うとワクワクしますね！今では月4〜5回程度、観光ガイドボランティアもしています。故郷熊本が大好きなので、大袈裟かも知れませんが、熊本に恩返しのできる気持ちでこれからも自分の出来る範囲でボランティアを続けていきたいと思っています。

折々ボランティアに参加するようになったきっかけ・参加した感想、また、ボランティアに対する想いをお聞かせください。



いつもニコニコ
ほんたけ かなこ
本武 加奈子さん

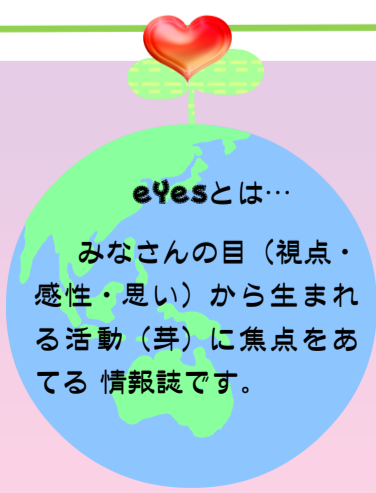
結婚して主人の仕事(自営)を手伝っています。結婚して主人の仕事(自営)を手伝っています。が、時間的に少し余裕ができたので、何かボランティアをしたいと思い、「よかよかボランティア」に登録しました。あいぽーと職員の方から折々ボランティアのお勧めがあり、不安ながらも参加させていただきましたが、皆さん手際よく和気あいあいと作業されていて、とても楽しかったです。行政が発行している情報誌は業者に委託して発送していると思っていましたが、ボランティアさんの手作業で発送しているものもあることを知って、とても暖かい気持ちになりました。これを機に、今後いろいろなボランティア活動に参加して、いろいろな方の役に立てたいと思います。



若いパワー！！
のぐち じゅんぺい
野口 純平さん

東日本大震災が影響でボランティアに興味を持ち、ボランティアを始める入口として「よかよかボランティア」に登録し、折々ボランティアならすぐ出来ると思い参加しました。折々作業を夢中で、もくもく頑張っています。指が痛くなってきましたが参加されている皆さんと世間話をしたりして楽しく作業をしています。いろんな世代がいて、学生の自分にも気さくに話しかけていただけることが嬉しくて、社会勉強にもなっています。自分が得られることで自分自身にとって喜びが得られていると思います。これからも何らかの形でボランティア活動をしていきたいと思っています。

〒862-0971 熊本市大江5丁目1番1号
熊本市総合保健福祉センター ウェルパルクまもと1階
熊本市市民活動支援センター・あいぽーと
電話 096 (366) 0168 FAX 096 (366) 8830
〒860-8601 熊本市手取本町1番1号 熊本市役所12階
熊本市市民協働推進課
電話 096 (328) 2036
Eメール shiminkyoudou@city.kumamoto.lg.jp



「よかよかボランティア」に

登録してみませんか！！

登録されると、「ボランティア情報」の提供、「登録者研修会」のご案内などが届きます。詳しくは左記へお問い合わせください。

